

## 秋田市園芸振興センター新規研修開講式

4月3日(水)、平成31年度秋田市新規就農研修開講式が秋田市園芸振興センターで開かれ、今年度から研修を受講する1年生8名らが出席し、農業振興や地域活性化への抱負を述べました。8名は2年間、栽培技術や農業経営、営農計画の作成などの実践的なカリキュラムに取り組みます。

県立金足農業高校を卒業し、新たに研修へ参加する武田達哉さんは「高校の実習が楽しかったので、新規就農研修を受けようと思った。これから2年間の研修を通して、様々なことを学んでいきたい」と話しました。

新たに就農研修に取り組む受講生ら



## 職員資格認証書交付式

4月5日(金)、平成30年度のJA職員資格認証書と信用部門合格証の交付式がJA秋田なまはげ会館で行われました。新しく資格を取得したり業務に係る検定に合格したりと、自己のスキルアップに努めた職員が出席しました。また、京極芳郎組合長から合格証を受け取り、代表者がさらなる自己研鑽に向けて決意を述べました。

平成30年度は、102名の職員が新たに資格等取得了しました。JAではこれからも職員の育成に力を入れ、業務遂行能力の向上に努めていきます。

新たに決意を表明する職員



## NEWS & TOPICS

## 枝豆栽培講習会

4月12日(金)、枝豆の栽培講習会が雄和支店で行われました。生産者や農薬メーカーの担当者ら約50名が参加し、本格的な枝豆の作業シーズンの到来を前に、栽培方法や肥料・農薬の取り扱いなどを学びました。

秋田地区営農センターの職員は、生育スケジュールに沿って各作業の注意点や対策などを説明しました。日本農薬株式会社担当者からは殺虫剤「フェニックス」の特長や作用メカニズム、使用方法などの話があり、参加者からは銅剤などの農薬に関する質問が上りました。

鳥害対策の説明を聞く参加者



## 梨授粉講習会

4月18日(木)、梨の授粉講習会が天王大崎地区で開かれ、生産者ら約30名が参加しました。

参加者は摘蕾・摘花作業や花粉の管理、授粉後の作業スケジュールなどを確認したほか、病虫害や資材の取り扱いについて意見を交わしました。男鹿地区営農センターの担当者は、適期作業に向けてこまめな観察と早めの準備を呼び掛けました。また「黒星病などの病気を減らして収量を確保できるよう、丁寧に作業に取りかかってほしい」と話しました。

男鹿地区営農センター管内では今年度、79名が梨の生産に取り組んでいます。

梨の生育について意見を交わしました

